

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名	男女共同参画推進行動計画進行管理事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	総務部	課長名	岩田 建一
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	総務課	担当者名	安武 恭一
施策の柱	45	男女共同参画社会の実現			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1227	
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 15	事業連番 11469	根拠法令	男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり条例		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	(管理事業 平成29年度～) 平成29年度より第3次行動計画(平成29年度～平成33年度)をもとに毎年、実施状況調査報告書を作成する。 (策定事業 平成27年度～平成28年度) 行動計画策定の流れ ・男女共同参画社会の実現を目指すために、男女共同参画推進の指針となる「第3次合志市男女共同参画推進行動計画～パートナーシッププラン・こうし～」を策定。平成27年度に市民意識調査を実施し、その後、男女共同参画推進懇話会や男女共同参画推進委員会・幹事会・ワーキンググループ等で内容を協議した。同計画の対象期間は、平成29年度～33年度。
【業務の流れ】	(管理事業 平成29年度～) 実施状況調査報告書の作成をワーキンググループへ依頼→男女共同参画推進幹事会で内容検討→男女共同参画推進委員会で承認→ホームページへ掲載 (策定事業 平成27年度～平成28年度) 行動計画策定の流れ 男女共同参画推進懇話会、男女共同参画推進委員会・幹事会・ワーキンググループ等による協議。パブリックコメントで市民に意見を募る。パブリックコメントの意見を再度、男女共同参画推進委員会・幹事会・ワーキンググループ等で協議。計画策定。広報誌掲載
【主な予算費目】	なし
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	平成29年度より第3次行動計画(平成29年度～平成33年度)をもとに毎年、実施状況調査報告書を作成する。	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位): 回	予算の主な増減の理由
ア: 市民意識調査の実施回数	回	
イ: 懇話会、推進委員会、幹事会、ワーキンググループの延べ開催数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	男女共同参画推進行動計画及び実施状況調査報告書	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		ア: 行動計画数 件
		イ: 実施状況調査報告書数 数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	策定された行動計画により男女共同参画が推進される。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		ア: 基本目標数 つ
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
行動計画の基本目標を中心に実施状況調査報告書を作成し男女共同参画社会をめざす。		全体計画
		～年度
		6,508

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	28年度	29年度	30年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 回	0	0	0	0	1	0	0	0	
	イ 回	16	13	11	11	11	11	11	11	
② 対象指標	ア 件	1	1	1	1	1	1	1	1	
	イ 数	1	1	1	1	1	1	1	1	
③ 成果指標	ア つ	4	4	4	4	4	4	4	4	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	4	2	0	0	0
		延べ業務時間	時間	30	30	0	100	0	0	0
(B) 人件費計	千円	0	118	0	394	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	118	0	394	0	0	0		

事務事業名	男女共同参画推進行動計画進行管理事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 毎年度、実施状況調査報告書を作成するので目標達成の見込みあり
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 行動計画により基本目標を定めているので向上余地はない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり条例に基づき行うものであり、他に手段がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 行動計画策定時以外は事業費なし
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限である
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市が策定するものであり、公平・公正である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 男女共同参画社会を実現するため、国の最重要課題と位置づけられており、市が率先して行う責務がある

3 評価結果の総括 (CHECK)

行動計画策定・管理としているが、現実にどれだけ男女共同参画が推進できているか図るものがない。次年度以降の課題としたい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						